

### 3. 地域別の配慮事項

#### 地域別 駅周辺

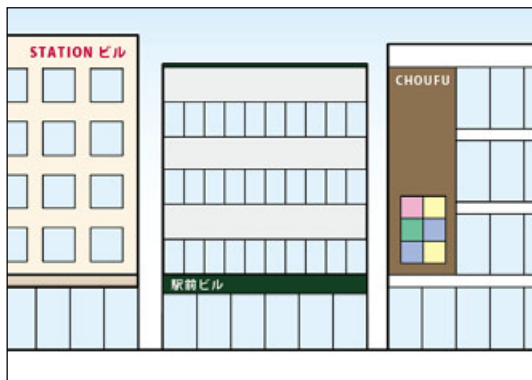
街の顔となる駅周辺の広告物は、周辺との調和やデザインに配慮し、  
**品格のなかにも「ほっとする」空間を演出する**

#### 景観の課題

- ・駅周辺の広告物は、目立たせるために色彩や大きさが過剰なものが目立つ
- ・様々な形態や種類の広告物が掲出されており、乱雑な印象となっている
- ・窓面広告が多数表示されており、防災上の観点から対応が必要

#### 配慮事項

- 街の顔として、市民や来訪者がほっとする空間形成に寄与するような広告物のデザイン、規模、数としましょう
- 周辺店舗やテナントと協力して、駅前広場からの眺望に配慮した屋外広告物による良好な景観を形成し、快適な歩行空間と調和させましょう
- 壁面広告は切り文字や箱文字等を用いるなど、すっきりとしたデザインとしましょう
- 窓面に広告物を表示することは避けるか、駅前広場の景観との調和を考慮したデザインで、最小限のものとし、開口部を覆うようなものは避けましょう



広告物はすっきりとしたデザインとし、街の顔となるようにぎわいと品格を演出しましょう



切り文字や箱文字を用いることで、シンプルな印象となっています（川崎市）



大きさを統一し、集約して掲出することで、見やすくすっきりした印象となっています（川崎市）



壁面と同系色の切り文字を用いた洗練されたデザインで、風格ある駅前を演出しています（立川市）

ワンポイントアドバイス

駅周辺

■ 地域別の景観形成方針と景観形成イメージ（調布市景観計画より）

調布市景観計画では、地域別の景観形成方針と、それぞれの方針に沿った景観形成イメージを作成しています。

屋外広告物を掲出する際は、こうした方針やイメージを踏まえた上で計画しましょう。

「駅」の景観形成推進地区／調布市景観計画

○ 景観形成方針と景観形成イメージ

- ・ 中心市街地の拠点となる調布駅周辺の景観形成を図ります。
- ・ 地域特性に応じた個性的な駅周辺の景観誘導を図ります。
- ・ 駅周辺の建築物や屋外広告物などの様々な景観要素へ配慮します。
- ・ 京王線連続立体交差事業による中心市街地の新たな景観形成を図ります。



調布駅周辺は、これまで京王線により南北の地域が分断されていましたが、鉄道の地下化が完了したことに伴い、分断が解消され、今後は人々の交流が駅を中心に一層活発化していくことが予想されます。

このため、調布駅周辺は、上記の景観形成方針を踏まえたうえで、これまで以上に市の主な「玄関口」として、また市の「顔」となるよう、活気とにぎわいの中にも一定の秩序が感じられる、魅力的な都市景観の形成を目指します。

○ 調布駅周辺の景観形成方針

- ・ 人々の交流を促す憩いの空間を創出する。
- ・ ゆとりの感じられる連続的な歩行者空間を創出する。
- ・ 建築物の低層部は、歩行者の視線に配慮した連続性のあるにぎわいを演出する。
- ・ 駅、駅前広場、主要な道路などからの眺望景観が魅力的になるよう工夫する。
- ・ 積極的な緑化により、潤いの感じられる街並みを形成する。



地域別 道路

沿道の広告物は、道路幅に応じた大きさやデザインとし、良好な沿道景観を創出する

景観の課題

- ・幅員の狭い道路では、自動車に向けた大規模な広告物はそぐわない
- ・幹線道路沿道では必要以上に派手な色彩で大きな広告物が目立つ
- ・自動車に向けた規模の広告物は、歩行者の目線からは見えづらい

配慮事項

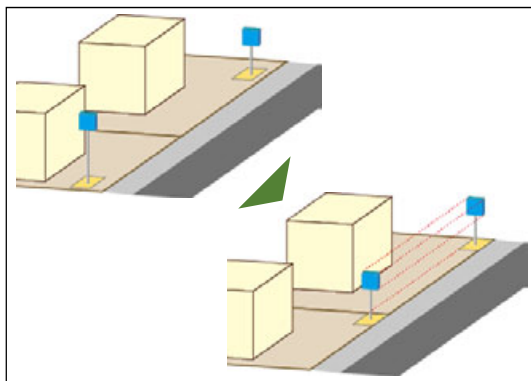
- 道路の幅員にあわせ、歩行者の目線から圧迫感のない大きさとしましょう
- 甲州街道沿道では、街路樹の妨げとならない広告物の設置高さとしたり、地色は彩度の低い落ち着いた色彩とするなど、けやき並木との調和に配慮しましょう
- 幅員の狭い道路沿いでは、ヒューマンスケールを意識し、広告物をできるだけ低層部に設置するようにしましょう
- 幹線道路や直線的な道路の沿道では、設置場所や設置高さをできるかぎり揃えましょう



歩行者にとって圧迫感のない大きさや、街路樹と調和した色彩を用いましょう



2階の軒先を超えない高さとすることで、周辺の街並みの景観を妨げないようにしています（高山市）



それぞれの場所でバラバラに設置するのではなく、設置場所や設置高さを揃えることで、連続した街並み景観を演出しましょう



街路樹や周囲の建物から突出しない高さに設置することで、圧迫感を軽減しています（茅ヶ崎市）

ワンポイントアドバイス >>> 道路

■ 地域別の景観形成方針と景観形成イメージ（調布市景観計画より）

調布市景観計画では、地域別の景観形成方針と、それぞれの方針に沿った景観形成イメージを作成しています。

屋外広告物を掲出する際は、こうした方針やイメージを踏まえた上で計画しましょう。

「道」の景観形成推進地区／調布市景観計画

○ 景観形成方針と景観形成イメージ

- ・まちとまちを結び、快適な市民生活を支える主要な道路の景観形成を図ります。
- ・誰もが安全・安心に移動できる歩道空間の景観形成を図ります。
- ・連続した街並みを意識した沿道の景観誘導を図ります。
- ・宿場町の面影を生かした旧甲州街道沿いの街並み景観の熟成を図ります。

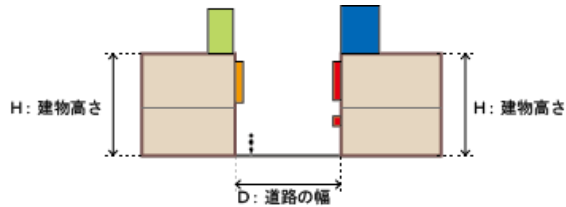


■ 街路スケールと広告物

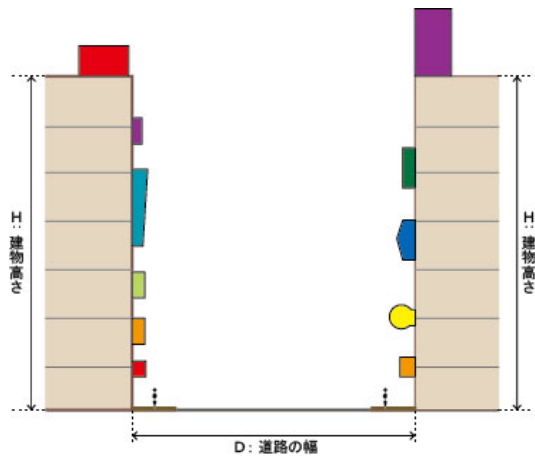
道路の沿道景観を形成する屋外広告物の規模は、道路とその両側の建物の大きさや高さと同調させることが重要になります。

例えば、幅の狭い道路で、両側が低層の建物の街並みに大規模な屋外広告物が設置すると、広告物の大きさに違和感を覚える一方で、幅の広い道路で、高層建物の街並みに小規模な屋外広告物が乱立する状態では、雑然とした街並み景観になってしまうケースがあります。

そのため、沿道に広告物の設置を考える際には、道路の幅と建物高さの比を意識することが必要です。



幅の狭い道路の低層建物の街並みに大規模の屋外広告物が設置されているイメージ



幅の広い道路の高層建物の街並みに小規模の屋外広告物が乱立しているイメージ

## 地域別 商店街

## 商店街の広告物は、各商店街での統一感や

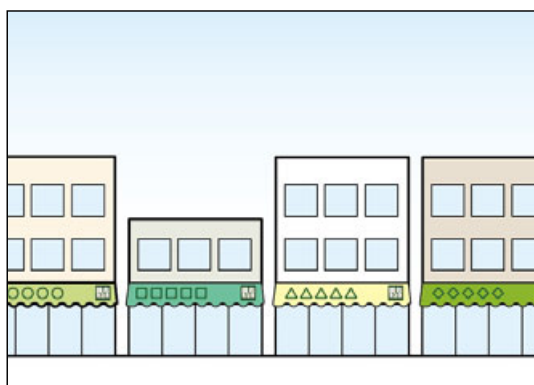
## 個性を感じさせる工夫をすることで、にぎわいを演出する

## 景観の課題

- ・商店街の広告物は、数が多く、無秩序に掲出されている場所もみられる
- ・多様な広告物が街の活気を生み出している一方で、個々の広告物が主張しているものもあり、雑多でまとまりのない街並みとなっている

## 配慮事項

- 各商店街の特性にあったデザインとし、にぎわいづくりに貢献するよう工夫しましょう
- 歩行者の視認性や回遊性を意識し、歩行者にとって見やすい大きさの広告物とし、低層部を中心に設置するようにしましょう
- 広告物のデザインや色彩は周辺の広告物と統一感を持たせ、地域のまとまりに配慮しましょう



店舗で共通したデザインの広告物を掲出するなど、地域のまとまりをつくるよう工夫しましょう



落ち着いたデザインを低層部を中心に設置し、街並みを演出しています（千代田区）



低層部の見やすい位置に形状、色彩を統一した突出広告、フラッグを設置することで、にぎわいともに連続性のある街並みを演出しています（宇都宮市）

地域別 自然地・住宅地

自然豊かな場所や住宅地などの広告物は、  
色やデザインを落ち着いたものとするこで、街並みに調和させる

景観の課題

- ・住宅地や緑が多い場所では、派手なデザインや色彩の広告物はそぐわない
- ・川沿いや農地などの広がりのある場所では、広告物が目立ち過ぎるのはよくない

配慮事項

- 周辺の住環境や自然環境に配慮し、控えめで落ち着いたデザインとしましょう
- 自然素材や、それに近い色彩やデザインを積極的に採用しましょう
- 国分寺崖線や農地の周辺では、緑の連続性を遮らないよう、稜線や建物から突出しない高さとしましょう
- 照明を使用する際は、周辺の住環境や自然環境に配慮した落ち着いた照明としましょう



建物や後背の崖線と調和しない鮮やかな色彩の使用を避けて、自然環境となじむ落ち着いた色彩やデザインとしましょう



ピクトグラムを効果的に使用し、住宅地に溶け込みながらも印象的な広告物となっています（調布市）



住宅地の緑や軒先のプランターや建物デザインに配慮したシンプルな切り文字の広告物にすることで、落ち着いたとうるおいのある店先を演出しています（国立市）



背景となるみどりと調和する茶系をベースカラーに使用することで、自然地に溶け込みながら、見やすいデザインの広告物となっています（那須塩原市）

## ワンポイントアドバイス

## 自然地・住宅地

## ■ 自然豊かな場所に掲出する広告物

## ○ 掲出位置

自然豊かな場所においては、掲出位置による広告の効果と周辺景観に与える影響とのバランスに気をつけていくことが必要になります。

そのため、遠くからの視認性を意識した大規模なものも設置は控え、近景～中近景のスケール感の中で、視認する人との距離や位置関係を踏まえたデザインや掲出位置を選択しましょう。

## ○ 素材

自然景観では、自然素材は、景観的な調和を期待できるといわれています。

ただし、広告物に利用できる素材は木質系や石質系のものが大半であり、それぞれ、構造や耐候性、加工方法などでデメリットがある場合もあります。

そのため、自然素材のみを使用するのではなく、それぞれの素材の長所を活かし、人工的な素材をミックスするなど、状況に応じた選択を心がけましょう。

広告物の色づかいは街並みに配慮したものとしましょう。

## ○ 色彩

自然景観においては、広告物自体の存在を強調するのではなく、彩度や明度を抑えた色調にすることで、自然地の色彩と同化させていくことで、周辺景観との調和を図っていきましょう。



遠景からの視認性を意識した大規模な広告物



近景～中景からの視認性を意識したスケール感の広告物



自然素材を使用した広告物



木質系素材とコンクリートを使用した広告物



自然地にあわせて彩度や明度を抑えた色調にした広告物

地域別 深大寺周辺

深大寺周辺の広告物は、自然と調和した色づかいや素材に配慮することで、  
街の歴史・文化・自然に溶け込ませる

景観の課題

- ・ 深大寺周辺の落ち着いた雰囲気や自然環境になじまない色づかいや大きさの広告物は良くない
- ・ 夜間景観への配慮が必要

配慮事項

- 深大寺を中心とした歴史・文化を感じることでできる街並みに貢献するよう、デザインや大きさ、色づかいを工夫しましょう
- 落ち着いた色彩や自然に近い色彩を使用しましょう
- 樹木や建物から突出しない高さとしましょう
- 自然素材や、それに近い色彩やデザインを積極的に採用しましょう
- 照明を使用する際は、深大寺周辺の雰囲気に配慮した落ち着いた照明としましょう



深大寺周辺の自然環境や建物の雰囲気に調和した色彩や大きさの広告物としましょう



深大寺周辺の街並みに調和する、落ち着いた和風の雰囲気を取り入れています（調布市）



周辺の自然環境になじむよう、木材や、似た質感の素材や色彩を採用しています（調布市）



企業カラーの使用を控え、落ち着いた色使いの広告物となっています（調布市）



## ワンポイントアドバイス

## 深大寺周辺

## ■ 深大寺通り周辺景観形成重点地区

調布市景観計画では、市の「顔」や「骨格」となる重要な地区や、地域住民の景観形成に対する取組意欲の高い地区等の、景観形成に対して積極的に取り組んでいく地区を景観形成重点地区に指定し、地区ごとに景観形成目標、景観形成方針とそれぞれの方針に沿った景観形成イメージを作成しています。

屋外広告物を掲出する際は、こうした方針やイメージを踏まえた上で計画しましょう。

## ○ 景観形成目標

国分寺崖線の豊かな水と緑を保全・活用し、安らぎある武蔵野の原風景を再生します。また、“真壁造り”等の特徴的な建築形態に表れる深大寺の歴史・文化を継承しながら観光文化歴史拠点を形成するとともに、落ち着いた感じられる街並み景観を形成します。

## ○ 景観形成方針と景観形成イメージ

- ・水と緑の豊かな自然環境の保全
- ・自然環境を生かした落ち着いた感じられる街並み景観の形成
- ・地域の歴史・文化を継承した魅力ある街並み景観の形成
- ・訪れる人にもゆとりと潤いを提供する景観の形成



## ■ 歴史的景観との関係

歴史的街並みの多くは、商業地として発展した経緯を持つところも少なくありません。寺社の境内とその参道における広告物や門前の街並みにおける商業的な広告物には、歴史的に継承されてきたものも多く含まれており、それらは地域の景観を特徴づける重要な要素にもなっています。

そのため、歴史的景観の中で屋外広告物を掲出する際は、伝統的な広告物が掲出されてきた場所での掲出を基本とし、広告物の規模やデザイン、素材などは、歴史的景観と調和したものを選択するよう心がけましょう。



歴史的な街並みを演出する建物と広告物  
(栃木市)

## 4. 種類別の配慮事項

広告物の種類別に配慮すべき事項は、次のとおりです。

### 壁面広告

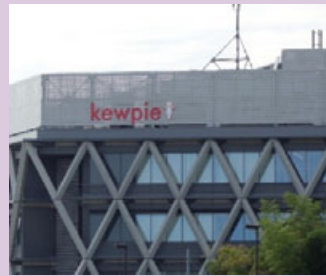
- ・建物の表情を活かした外観を形成するため、壁面を極端に覆うような表示は避けましょう。
- ・中高層部への掲出はできる限り控え、歩行者の視野に入りやすい1～2階までの低層部に設置しましょう。
- ・立体的な箱文字や切り文字を使用し、建物（ファサード面）と一体的なデザインとなるよう心がけましょう。



視野に入りやすい低層部に掲出し、壁面デザインにあわせてシンプルな切り文字を使用した壁面広告

### 屋上広告

- ・建物1棟につき1基としましょう。
- ・連続するスカイラインを崩さぬよう、隣接する建物や街並みの連続性に配慮した高さや大きさとしましょう。
- ・原則、横長とし、安定感のある形状とし、建物と一体的なデザインとなるよう配慮しましょう。
- ・ネオン管や映像使用など動きや点滅を伴う照明等の使用を控えましょう。



横長形状とし、壁面デザインと一体的な屋上の目隠しを活用した、シンプルな切り文字の屋上広告

### 突出広告

- ・複数設置を避け、集約化するなど小さい面積で効果的な表現を心がけましょう。
- ・街並みの連続性に配慮し、近隣の建物と設置位置や突出し幅を揃えましょう。
- ・交通標識や信号等を遮らない位置に設置しましょう。



1箇所に集約し、1事業者の大きさも建物1層以下の大きさとして、それぞれの高さも合わせた突出広告

## 地上広告

- ・複数設置を避け、集約化するなど小さい面積で効果的な表現を心がけましょう。
- ・歩行者、自転車、車両の通行や見通しを妨げない大きさ、高さとしましょう。
- ・支柱等は、建物や周辺景観と調和した落ち着いた色彩を使用しましょう。
- ・ネオン管や映像使用などの動きや点滅を伴う照明等の使用を控えましょう。
- ・道路上は禁止区域のため、原則、設置はできません。



セットバック空間に都市部にあわせたすっきりしたステンレス素材を活用し、集約して設置した地上広告

## 広告幕

- ・窓面等の開口部をふさがないように設置しましょう。
- ・枠を設けるなどして設置場所を限定し、最小限の大きさと本数の設置としましょう。
- ・色あせや劣化のないように適切な時期で交換しましょう。



店舗の雰囲気にあわせて、シンプルな和風デザインで、壁面と調和した色彩を使用した広告幕



ガラス面を避け、設置枠を設けて、掲出している懸垂幕

## 置看板

- ・歩行者、自転車、車両の通行や見通しを妨げない大きさ、高さとしましょう。
- ・同一のものや同じ情報の複数設置を避け、必要最小限の数としましょう。
- ・店先の緑などと一体的な演出を心がけましょう。
- ・色あせや劣化への対応、営業時間外は屋内に保管するなど、適切に管理を行いましょう。
- ・道路上は禁止区域のため、原則、設置はできません。



店構えにあわせて木質系素材を使用し、手書きの表現によりおもてなしの心を演出した置看板

## のぼり

- ・歩行者、自転車、車両の通行や見通しを妨げない大きさ、高さとしましょう。
- ・支柱も含めた形状や素材、また色などは、建物や周辺景観と調和したシンプルなものとしましょう。
- ・同一のものや同じ情報の複数設置を避け、必要最小限の数としましょう。やむを得ず、複数設置する場合は、色彩を統一するなど、街並みの連続性や周囲との調和に配慮しましょう。
- ・色あせや劣化のないように適切な時期で交換しましょう。
- ・道路上は禁止区域のため、原則、設置はできません。



歩行者の通行の妨げにならない場所に店舗の装いにあわせてデザインで掲出したのぼり

## バナー広告

- ・歩行者、自転車、車両の通行や見通しを妨げない形態とし、交通標識や信号等を遮らない位置に設置しましょう。
- ・複数設置する場合は、同一のものを同位置、同間隔で設置するなど、街並みの連続性に配慮しましょう。
- ・色あせや劣化のないように適切な時期で交換しましょう。
- ・道路上は禁止区域のため、原則、設置はできません。



街路灯や沿道の雰囲気にあわせて、色数を抑え、シンプルながらもデザイン性の高いバナー広告

## 貼り紙

- ・貼り紙・貼り札は、耐久性がなく美観が損なわれやすいことから、期間を限定するなど必要最小限とします。
- ・同一のものや同じ情報を複数枚、連続しての掲出は控えましょう。
- ・建物等に直接貼り付けず、フレームや掲示板等を使用するなど集約して設置しましょう。
- ・道路上は禁止区域のため、原則、設置はできません。



スペースを設け、1箇所に集約して掲出し、壁面と掲出スペースと調和した貼り紙広告

## 窓面の内側を利用した広告

- ・窓面等の開口部をふさがないように設置しましょう。
- ・窓ガラス等の開口部に直接貼り付けて表示するなどの掲出はできる限り控えましょう。
- ・やむを得ず表示する場合は、必要最小限の大きさとし、色数を抑えたシンプルなデザインとしましょう。
- ・窓面等に電飾を設置し、光源や表示面を過度に点滅させるなどの照明の使用は控えましょう。



窓面から距離をおいて掲出した窓面の内側を利用した広告